



エンゼル・ヴォイス通信

令和4年 12月
(2022年)

会報39号



ご あ い さ つ

2022年も残すところあと1ヶ月となりました。思えばコロナウイルスの感染が広がった3年前から、世の中はずいぶん様変わりしてきました。今も、相変わらず地球上には戦争、災害、不況など悪いニュースで重苦しい空気に覆われています。しかし、こんな時代だからこそ、私は「真・善・美」を追求し自己磨きを続けたいと思っています。どうか、自家発電して明るく自分を輝かせていきましょう。丹田式呼吸法を意識して、自分の声・心・体をいつもお掃除して、明るい豊かな思いを持ちましょう。

そのような中でも、ありがたいことに本年は2度の発表の機会を頂きました。8月6日の沙羅の木会奈良支部コンサートでは、講師陣によるプロ合唱をご披露いたしました。この日は主催者側のご意向でマスクをつけての合唱となりましたが、なんら滞りなく通用することが実証されました。しかも練習回数も6回ほどでしたので、日頃皆さまの「継続は力なり」の精神で努力を積み重ねてこられた成果とこのメソードの良さは実証されたと思います。

また、学園前教室がある和幸ビル2階に多目的ホールが完成し、11月6日はそのお披露目の会に参加させていただきました。当日はエンゼル・ヴォイス合唱団とイタリア歌曲勉強会の合唱のあと、簡単なヴォイストレーニングをし、集ってくださった客席の会員諸氏とともに歌いました。即席合唱団ではありますが、きれいなハーモニーで、皆さまの、日頃の精進の賜物と感激いたしました。

すべての会員の皆さまの成長が私の希望であり、更なる夢実現への原動力となっております。心より感謝申し上げます。

来年もまた元気に皆で新しい目標を掲げ前進してまいりたいと思います。

宜しく願いいたします。

よいお年をお迎えくださいませ。



門 前 啓 子

“魂に響く声”だと言われるように！

～レッスンは私にとって、なくてはならないメンテナンス～

先日、セミナーで講話を担当しました際に、終わってから複数の方から「米澤さんそんなに優しい声でしたか？」「話し方が全く変わっていて驚いた」というお声掛けいただきました。

私がレッスンに通い始めて4年が過ぎましたが、最近は、「言葉が心にストンと入ってくる」「心地よい声」「聴きやすい」「魂に響く声」など声に関してお褒めいただくことが多くなりました。

レッスンを受けるきっかけは、当時、喉を傷めては声が枯れたり、声が出なくなったりするトラブルを抱えていました。そんな時、自分でこれは、発声の仕方の問題があるのだと気づき、ヴォイストレーニングの教室を探し、インターネットで門前先生と出会いました。門前先生の動画も拝見し、志に共感し、ここで指導を受けたいと電話をしました。

その際に電話でご対応してくださったのが、たまたま門前先生ご自身だったのです。そして私の症状を説明すると、木村博子先生が良いと勧めていただき、毎週30分間の個人レッスンに通うことになりました。一週間の間に仕事や活動の中で喉を酷使していても、週末のレッスンで整えていただけるお陰で、レッスンに通うようになってからは、トラブルが全くありません。また木村先生は、私の喉の状態をすぐに察知して整えてくださいます。毎週のこの時間が私にとってのメンテナンスの時間としてなくてはならないものになっています。

私の職業は企業の人財育成のコンサルティング会社を営んでおり、自らも研修などで登壇することも多く、また、経営者の社会教育団体でも活動しており、講話を担当し大勢の前で話す場面が頻繁にあります。

私にとって「声」は、とても大切なもの、これからも磨き続けます。

株式会社スマレボ 代表取締役

一般社団法人 倫理委研究所 大阪府倫理法人会 幹事長 米澤 忍

米澤さんから、今回のエピソードをお聞かせ頂き、ぜひ又通信にご寄稿をとお願いしたところお忙しい中、快くご対応いただきました。

(今迄にも数回通信に書いていただきましたが、回を重ねるごとに効果も深まっておられ嬉しい限りです。)

このところお仕事上、喉の酷使も多く、毎回レッスン開始時の第一声を聴くと、だいぶ痛めておられるなと思う事も多いのですが、レッスンが終わると喉がスッキリしたと言われ、私もホッとします。

これからもレッスンで益々声磨きを続けられ又成果をお聞かせくださいね。

本部講師 木村 博子

コロナ禍でのDVD

2020年5月に門前先生からのDVDが届き、門前先生の美声とピアノの音に合わせヴォイストレーニングをし、自粛の日々の中で唯一、癒やされながら丹田式呼吸法発声法に触れることができました。

私は三年日記を続けていますが、それを見ると、自宅で1人でレッスンするのと合わせて、今年で3年目になります。

先日、DVDを返却しましたが、門前先生のご指導をいただきながらの3年間の丹田式呼吸法発声法は、素晴らしかったです。

気分がめいった時、何かやる気がないなあと思っている時でも、DVDから流れる門前先生のお声を聴きながら、フッフッとやっている内に、身体がこちよいなあと感じ、又やる気が出ました。

丹田からの呼吸・発声に感動しています。

息3年、最近はやっとだけ、丹田の場所がわかり、自分で丹田をコントロールするという意識が大事なのかもと思えるようになってきました。

貴重な体験が、できて良かったです。

心・体・声、実感しています。

研究生 中島 律代



中島さんは、今回の通信で、沙羅の木会コンサートの感想、11/6 コムズホールオープニングセレモニーの感想、又貸し出しDVDを使っただけの日頃の思い、と今回が初めての通信感想文デビューですが、結果として3投稿と沢山の素敵なメッセージをいただきました。

中島さんは集合レッスン月4回からスタートされ、段々と集合レッスンが個人レッスンに変わっていき、今は個人3回と集合1回と毎週レッスンを続けて来られました。そしてそれと共に体得も進まれ、熱心に取り組まれている成果も沢山現れておられます。例えば来られた時にはLowで測れなかった体温が、レッスン途中には汗だくになり36度近くに上がり、最近では始めからしっかり体温も出る事が増えておられます。

今回コロナ禍でのDVD使用中の様子を私も初めて伺い、そういう風に感じて観てくださった事に感動しました。門前先生からも、

「コロナに負けず免疫力をつけていただきたいと、せつかく巡りあって頂いた発声法を何とか続けて、会員の方々を守りたいと全員に送って、お役にたてたのならこんな嬉しいことはありません。なによりのお言葉頂き感謝です。よろしくお伝えくださいませ。嬉しいです。」とメッセージを頂きました。

中島さん投稿有難うございました。

引き続き、レッスンで体得を積みながら健康に楽しく益々豊かな感受性を高めていってくださいね。

本部講師 木村 博子

沙羅の木会奈良支部コンサートに参加して

8月6日（土）秋篠音楽堂にて、沙羅の木会（相愛大学音楽学部同窓会）奈良支部のコンサートが行われ、本部支部講師合唱団が出演、日本・イタリア歌曲の合唱を発表いたしました。時節柄、人数を絞り、マスクをしての発表でしたが、日頃の練習の成果をしっかりと出すことが出来ました。



☆出演者（エンゼル・ヴォイス講師合唱団員）の感想

先日のコンサートはコロナ禍の中、盛会となりまして感動いたしました。ありがとうございました。

当日は人数が少なくマスクの問題もあり、一抹の不安がありました。本番になると、今までの練習とは違い、曲を重ねるうちにホールに響く柔らかい声に包まれ幸せな気持ちになってきました。大変貴重な体験をさせていただき感謝いたします。今後も精進努力を忘れずに、楽しみながらしっかり丹田を育てていきたいと思っております。

支部講師 西村 美津子

全員の声の一つになった気がして、とても気持ちよく感じました。出演させていただいて本当によかったです。

支部講師 田邊 奈美子

門前先生から、講師の声も年々息が育ち声が育ってきましたと、嬉しい言葉をいただきました。NHKの朝のドラマの中で出てきた「汝の立つ所 深く掘れ そこに必ず泉湧く」とニーチェの言葉のように、これからも講師の方々と共に精進していけたらと思います。

支部講師 森崎 敏代

皆様と一緒に出演させていただきありがとうございました。今回は今までよりもみんなの声が綺麗にまとまった気がしました。それと共に、自分も力を抜いて自然に発声して歌えた気がして、終わってから気持ちよく感じられました。6月7月は月4～5回学園前教室に集まり、先生の熱意もひしひしと伝わってきていました。淡々と回数をこなし、先生についていくことで、みんな力がついていくと思われました。

支部講師 山本 弘子

朝のボイストレーニングと合唱練習に不参加での本番は心配でしたが、ゲネで周りの方々の声で救われ、不安が消えていきました。練習では門前先生のご指導時に、喉の感覚がなくなり丹田からの息の圧で自然と声が体を通り抜けていく体験をしました。言葉では言い表せない感覚で、門前式発声法の奥の深さを痛感いたしました。

本部講師 川村 理恵子

久しぶりの舞台にすごく緊張しましたが、本番は特にお客様の前で歌うことが、とても楽しく気持ちよく、自分が音楽家なのだとしみじみ感じました。コロナ禍ですっかり音楽活動も減り、ただひたすら淡々とボイストレーニングをする日々？でしたが、改めて歌う喜び、合唱のハーモニーの気持ち良さを感じることができて、幸せな時間でした。欲を言えば一度は客席で自分たちの合唱を聞いてみたいですが…。当日までのご指導ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

支部講師 矢部 敦子

本番が終わって

2020年、決まっていた演奏会がコロナで中止になって、それからずっと講師の合唱も小グループに分かれて月1回のレッスンを続けていました。

今回、急遽、沙羅の木会奈良支部の演奏会に出演が決まって、少ないレッスンの中で本番を迎えたのですが、振り返れば充実した日々でした。久々の演奏会、当日も、朝からずっと門前先生が発声と曲のレッスンをしてくださり、あれよあれよと言う間に本番を迎え舞台もそれ以外の時とても充実しながら、しかもとても楽しく過ごさせて頂きました。

ゲネでは、マスク無しでもしましたが、それだと四方扉を全部を開けなければならず、声は迫力もあり凄く良く響くのですが、伴奏していて音がバラバラと散って遅れて聞こえ、やむなくマスクをして扉を閉めての出演になりました。

でもこの発声はマスクをしていても声が前に飛ぶ事はわかっていたので、安心して本番に臨む事が出来、後から会場の方に聞いても言葉もはっきり聞こえていて、また多くの方が透明な響きで綺麗だったと言ってくれました。

短い練習期間でしたが、本番を迎えられた事は、やっぱり色々な意味でも良かった、必要だなあと改めて思いました。

門前先生、沢山ご指導頂き有難うございました♪

本部講師 木村 博子

指揮をさせて頂き感じたこと

練習も終盤になり立ち止まることが多くなった時、門前先生が前に出てご指導していただくと、同じ方々かと思うほど皆さんの声が、音楽が、曲がどんどん変わっていきます。(いつもそうなのですが)先生が前に立たれると空気感が変わり、先生からのパワーに満ち溢れた指揮(息)に包み込まれ、ひとつの美しい響きとなり心地よい音楽が生まれてくるのです。それを間近に感じる事ができ、良い経験をさせていただきました。

この門前式発声法で求める歌は、丹田でささえた息が自由自在に使える事なのだと、結局は「息」なのだと改めて気づかされました。それと、理屈ではなく感性で曲を引っ張っていく力が私には、まだまだ足りないと感じました。このように様々な経験をさせていただきながら、少しでも前に進んでいきたいと思っています。

本部講師 塩見 智永子

☆客席で聞かれた方々の感想



- *とってもきれいで感激しました。 とっても良かった。
先生方が素晴らしかった。 最後に、もう一回演奏やって欲しかった。
こうゆうのを聞いたら励みになる。 またやってほしい、楽しみ。
選曲も良かった。

- *高音が特に綺麗だった。あれだけの人数で声が良く揃うなあと思った。耳に心地よく、柔らか、ソフトな感じ。指揮に合わさって声と一緒に動くのが、特に印象に残った。天使の歌声。声の音色が心に凄く響いた。

- *透明な声で素敵でした。（舞台袖の次の演奏者から）

- *歌の前にエンゼル・ボイス合唱団の紹介があれば、首からかけているエンゼル・ボイスの意味も分かってもらえて良かったのでは…と思います。

- *皆さんの声の一つになって心地よく客席にスーッと飛んできて、もっと聞きたくなる気持ちになりました。

- *先生方のコーラス、透き通るような声でよかったです。（別の出演者から）

- *やさしい声だった。最後の曲で一つの声になっていて、これが門前先生がおっしゃってたことだと思った。

- *本当にきれいな声だった。コンサートの中で一番印象に残った。

- *マスクをされていたので驚いた。マスクがなかったらもっと響いていたのではと、やはり思った。でも講師の方々の混じりっ気のない美しい響きで、このCDが欲しいです。

- *まさにエンゼルヴォイスだった。ハーモニーがきれいだった。みんな堂々としていたし、マスク越しとは思えない歌声だった。

- *本当に皆さんの声が若いのに驚きました。そして柔らかくきれいな響きの声が会場全体に広がって、聴いていて心地よかったです。今レッスンして、目指す声がこれなのだと楽しみになりました。

- *舞台を見て平均年齢はだいたい予想がついたのですが、声を聴いて、あまりにも想像していた声とは違い若い声なので、見た目と声のギャップに驚きました。若い声というだけではなく、優しい声でよく知っている曲を聴け、楽しかったです。

*エンゼル・ヴォイス合唱団の歌声は、未だかつて聴いたことのない清らかで透明感のある美しいものでした。「富士山」「ふるさと」は今まで何度も耳にしていますが、情景が自然に浮かび心に染み入りました。特に最後の「オンブラ・マイ・フ」の歌声は鳥肌が立つほど、その美しさに感動いたしました。団員皆様の声が全く一つとなり、誰一人として飛び出して目立つ声はなく、丹田発声とはこういうものだ、今回初めて耳で学ばせていただきました。丹田式発声法を学び始めて2年ほどのまだまだ未熟な私ですが、少しでも真のエンゼル・ヴォイスに近づけるよう精進して参りたいと思わせていただきました。次回は是非、マスク無しのエンゼル・ヴォイスを聴かせていただきたいと思います。

荒木 玲子

*荒木さんをご夫婦でお越しくださり、感想を寄せていただきました。ご夫君は学園前教室に熱心に通われ、玲子さんは門前先生がお住まいの朝日町公民館グループレッスンに参加されています。朝日町の住民の方からの要請で2021年に開講され、皆様熱心で、休憩時には世間話で和み、ヴァッカイ等歌って楽しく学んでいます。丹田式呼吸法で呼吸筋が育ち、声帯を自由に柔らかく響かせ、このような歌声に昇華出来ることを実感してくださいました。これからも、自分と向き合い、お仲間と共に歌えることの喜びを体感出来ることを願っています。ご一緒に頑張りましょうね。 支部講師 小橋 弘子

*紙面の都合により、文章の一部を省略させていただいております。
その旨ご了承ください。



フレッシュ&会員による 沙羅の木会 奈良支部コンサート 合唱 エンゼル・ヴォイス合唱団 小宮田・ふるさと・Caro mio ben 2022.8.6
O cessate di piagarmi/Ombra mai fu

楽しかった！ COM' Sホール オープニングセレモニー

11月6日（日）、学園前教室のある和幸ビルに新しく作られたCOM' Sホールのオープニングセレモニーに、エンゼル・ヴォイス会員合唱団、イタリア歌曲勉強会会員そして講師の応援で、富士山・ふるさと・小さな木の実、イタリア歌曲3曲の合唱をご披露しました。その後、“みんなで歌いましょう”ということで、門前先生のご指導の下、お客様とともにヴォイストレーニングを受けて、もみじ・里の秋などを歌い、楽しいひとときを過ごしました。



参加された会員さんの感想

*ライブ感があって、平地なので演奏者と近く、そばで見れて先生方の息使いまで聞こえてとても良かったです。隣の連れの方も、皆んなで歌った時にどこを歌うのか迷っていると、講師の方がすぐにそばまで来てくださり、丁寧に教えて頂けてとても感激したと言っていました。こういう会もとても好きです。
 研究生 木戸脇 詔子

*11月6日のオープニングセレモニーに、私は環バレエ教室の発表から参加しました。バレエ教室の方の羽根が見える背骨、トウシューズの擦れる軽やかな舞いに観とれていました。手先足先までの表現に魅了されていました。丹田発声のヴォイストレーニングも、門前先生のご指導で、優しい声・語りの声が発声されて、歌声が響き、ここちよい空間でした。赤とんぼの歌も、門前先生の丁寧なご指導で丹田から発声しているかのように感じて、皆さんと一緒に楽しく過ごす事ができました。お茶、お菓子までいただき、歌声喫茶にいるかのように思えました。帰りには、記念にジュエリーを、思い出に可愛い髪留めを購入しました。お立ち寄りサービスにと、ディズニーのボタンをいただきました。参加して、人と人との触れ合いができて元気をたくさんいただきました。
 研究生 中島 律代

笑顔集う多目的ホール



奈良にオープン 開業祝い合唱や踊り

展示会や発表会など多目的に貸貸で活用できる多目的ホール「コムスホール学園前」が6日、奈良市学園北1丁目の和幸ビル2階にオープンした。

近鉄学園前駅北口前にある3階建ての同ビルに入居

「丹田(たんでん)呼吸法」を分かりやすく独自にシステム化した「丹田式(門前式)発声法」でボイストレーニングする「門前啓子発

コムスを披露する「門前啓子発声教育研究所 学園前教室の講師」が6日、奈良市学園北1のコムスホール学園前

声教育研究所(門前啓子さん主宰)の学園前教室の講師らが、「富士山」「ふるさと」などを合唱した。同ホールは延べ床面積約165平方メートル。流し台、椅子、丸テーブル、ピアノなどを備えている。同ビルオ

奈良新聞に掲載されました

「一丁目の鈴木千恵子さんは「多くの人にいろんな目的で使ってもらって」と地域がにぎやかになれば」と話した。

利用料(税別)は1時間あたり平日3500円、土日祝日4500円、1日で平日3万円、土日祝日4

指導教則本（起声編）勉強会を終えて

2021年の秋、門前先生が編み生み出された「丹田式発声法＝門前式発声法」を後世に正しく伝え残すための、渾身の一冊が出来上がりました。この一冊で「丹田式発声法」の導入から起声までの流れがひと目でわかり、指導方法・指導する際の言葉や言い回しまで細かく詳しく知ることができます。そして後半に、レッスンで弾いているピアノ部分の楽譜が付いています。

11月13日（日）この指導教則本勉強会第2弾が開催され、その第1回目を、この日私が担当させていただきました。勉強会に参加された講師の方々と、ひとつひとつの項目を確認しながら大事なポイントを押さえていきました。

常日頃、講師は指導する際、自己流に陥ると正しく伝わらないことを感じています。門前先生が使われる言葉は、的確で無駄が無く、わかりやすいので、それを自分のものにする勉強が講師には不可欠です。この地道な勉強と努力・熱意がこれから「丹田式発声法」を広めていく力となると確信しています。講師はしっかりとした力を身につけ、明るく前向きに、勇気と希望を持って、門前先生の思いを自分の思いとして「丹田式発声法」を正しく広め伝えていきましょう。

主任本部講師 中野 恵子



指導教則本への思い

昨年2021年、コロナ禍での1年がかりではありましたが、1冊のテキストがようやく産声をあげました。40年以上に渡って試行錯誤を重ねた私の指導方法が「指導教則本（起声編）」として発刊の運びとなり、まずはこれで丹田式発声法＝門前式発声法の源流とも言えるものが完成いたしました。これも、ひとえに20年以上に渡りご自身の体得を積み重ね、後輩の指導に情熱を注いで来られた講師の皆さまのお陰と心より感謝いたします。

書籍については、この指導教則本で3冊目となりますが、不思議なことに2001年に「天使の声の育て方」で指導者養成、2011年に「丹田式発声法入門」で一般の皆さまへの啓蒙そして2021年の「指導教則本」で、次に続く一般の会員の皆さまにもヴォイストレーナーとしての道を開きたいと思っています。どうやら、私は10年後を見据えて本を出してきたように思います。

もう30年以上も前になるかと思いますが、ある有名な耳鼻咽喉科のお医者様から「日本には良いヴォイストレーナーがいない！」と私にお話下さったことがありました。「毎月海外に出向きヴォイストレーニングに通っている知り合いが何人もいる」というお話でした。それを聞いて、絶対日本に良いヴォイストレーナーを育てたいと強い思いを抱きました。その頃からついてきて下さっている講師の力をお借りして、この指導教則本が完成しました。

後に続く講師の卵さん達が的確に正しく指導できるように、細心の注意を払い詳細に作り上げた道案内のような指導書です。当会では一般の方にもヴォイストレーナーの道を開きたいと考え、インストラクターという資格を設けています。10年、20年と体得を重ねていくとどなたでも自然と耳が育ってきます。そしてご自身が体得した分だけ他の方の声もお掃除できるようになります。その方法がこのテキストにあります。

まだ、この起声編は私の30分メソッドの、3分の1の部分ですが、実はこの3分の1の起声を確実に正確に体得したら、後の3分の2は自然と育って行くのです。何よりもこの基礎の種まきがきちんとできるかどうか、指導側にしても教わる側にしても難しいのです。

「起声に始まり起声に終わる」と言っても過言ではありません。

そういう意味で、オンラインレッスン（AコースBコース）も始めましたので、講師の方もこの機会に原点回帰して短期間でも受講いただきたいと思います。「起声」の入り口を体得するには「息3年」と私はよくお話しますが、起声が体得できたら、確かにこの深遠なるイタリア・ベルカント唱法の本道に入ることができます。オンデマンド式レッスンで、毎日私と一緒に起声を積み重ねた方は、今までのようなスタートの難関は軽く乗り越えられることと思います。指導する側の先生も指導教則本の学びと併用して、オンラインレッスンを実習されるとダブルで、より指導者としての体得が進むことでしょう。

また、一般の方もこの両輪をご自身の宝として研鑽を積んでいただくと、インストラクターの道も認定講師の道も歩むことが可能となります。時間を決めて「毎日少しずつコツコツ」が自分を豊かに育てることになります。

このたび、ピアノ教室も始めましたので、気軽に初めは趣味として指を動かしご自分のお好きなメロディーを楽しんでいただきたいと思います。楽譜が苦手な方は音符カードでド～ミまで覚えていただくことで、指導教則本の中の楽譜も弾けるようになり、認定講師資格を取得するのも夢ではありません。

いかがでしょうか。年齢を重ねても、指先まで神経が若返り豊かな響きの美声が出て、頭脳と体がいつまでも若々しく保てるヴォイストレーナーの道もいいものですよ。これからは人生100歳まで、現役人生も夢ではありません。（アンドレア・バランドーニ先生は90代でも現役でレッスンしてくださいました。）

まだまだ人のお役に立てる人生を共に歩みたいと思います。教則本勉強会第1弾は、私が指導させていただきましたが、今回からベテラン講師による勉強会となります。11月の1回目を主任本部講師の中野講師にお願いしました。今後ご希望に応じて開催する予定です。この指導教則本で日本各地に正しく指導できるヴォイストレーナーを育てて行きたいと切に願っております。

門 前 啓 子

年末年始のレッスンについて

年末 集合レッスンは、12月27日（火）まで行います。

年始 1月1～5日は、お正月休みです。
個人レッスンを受けておられる方は、
レッスン日を担当講師にお尋ねください。



☆ 集合レッスン

1月 (学園前) ○ 印 (桜ノ宮) (京都)

月	火	水	木	金	土		
2	3	4	5	○6	○7		土
○9	○10	11	12	○13	○14	14	7
○16	○17	18	19	○20	○21		21
○23	○24	25	26	○27	○28	28	28
30	31						

☆ エンゼル・ヴォイス合唱団

(学園前) 1月16日（月） 10:30～11:30
(桜ノ宮) 1月23日（月） 14:00～15:00

☆ イタリア歌曲勉強会

(学園前) 1月15日（日）、1月23日（月） 11:00～12:00
(桜ノ宮) 1月23日（月） 12:30～13:30



コロナ禍期間中の貸し出しDVDを
回収しております。
まだの方は12月中に担当講師まで
お届けください。

経理からのお知らせ

☆2023年 年会費振替のお願い

自動振替の皆様は 1月の振替は2回となります。



**初回 2023年1月4日 → 1月受講料
(再振替1月10日)**

2回目 2023年1月16日 → 年会費 ¥2,200

**注：振替手続き済の方は、こちらで振替いたしますので
ご自身でのお振込みは不要です。**

*受講中の方で、まだ自動振替手続きができてない方は担当の講師まで
お支払いください。

*ご自身で毎月お月謝を送金されている方につきましては、
通常の送金先にお月謝と年会費をお振込みください。

***休会中の方につきましても、年会費はお振替いたします。**

ご自身確認いただきますようお願いいたします。

ご不明な点等ございましたら、担当講師、事務所等にご連絡ください。

《連絡先》 学園前教室 (転送) : 0742-51-7748
(FAX) : 0742-44-7811



経理担当 竹島 利枝

会報作成スタッフ 岡 雅美 後藤悦子 塩見智永子 杉本夏子 堀江久子